

B②



つくった人：Bグループ

あいり

ウォンヒイ

はな

ひらり

れお

ぶたいしょうかい

- どのくに？
日本
- いつの時代？
平成時代
- どんなところ？
山奥
- キーアイテムは【バケツ】として使います。

キャラクター紹介

【主人公】

●なまえ 一郎（いちろう）

●ねんれい 70才



●どんな人？ こわがりだけど、山が大好き。やさしい。孫思い。
けど怒るととまらない。

【役どころ：わき役 孫】

●なまえ りか

●ねんれい 7才



●どんな人？ いじわるでいたずらが大好き。いつもおじいちゃん
におこられている。頭が悪い。虫ぎらい。

【役どころ：わき役 孫】

●なまえ 勇（いさむ）

●ねんれい 4才



●どんな人？ 明るく陽気な人。こわがりをせず、おじいちゃんに
負けず、山が大好き。

①



ここは、ひっそりとしたあまり名の知れていない山の山奥です。

そこに山登りに来ていた3人の家族が道にまよっていました。
(そうなん?)

(キャラ紹介) おじいちゃんは迷方にくれた顔をしています。
その孫のりかは、そんなことを気にせずに、
「ギャー！カ(蚊)にさされた！かゆいー！」とわめいています。
もうひとりの孫の勇は、「道にまようのもわるくないね！」と
にこにこした顔で言っています。

②



そこで、「しかたない、今日はここで一泊しよう」(一郎)
「いやよ。もう少し歩いて宿を探しましょ。」(りか)
「それはいかん。もしもっと山奥にいつてしまったら、どうするんだ。」(一郎) 「そんなのやだー」(勇)
「こんなところで寝たくない。もし、歩いているうちに出口がみつかるかもしれないよ。」(りか)
「それは危険じゃがもう少しあたたかいところを探してみるか。」(一郎) 「出口が見つかるといいね。」(勇)
「出発、エイエイオー」三人は歩き出しました。
「こんなところにバケツがあるよ。」りかが中をのぞきました。
するとうれしそうにとびあがり、「食べものがいっぱいあるよ。」「えーっ」三人で中をのぞきました。

③



すると、色とりどりの果物がぎっしりのバケツの中に入っていたのです。

しかし、果物だと思っていたものがとても君の悪い物だったのです。

それを見てりかは「これ食べたら死んでしまうんじゃないの。」と勇は「これ頭がい骨じゃないの。」とふるえた声でいっています。おじいちゃんはびっくりして こしがぬけてしまいました。

④



3人はこわくなりながらも進んでいきました。

と中でりかはなんども「キャー」とひめいをあげていましたがやっと宿につきました。すごくつかれていたのもみなすぐにねてしまいました。

次の日には宿の人に道を教えてもらい、無事に家に帰れました。